

(ニュースリリース)

2007年10月19日

紫外線からプラスチックを守る デュポン™ライトスタビライザー210 (ナノスケール酸化チタン) 紫外線カット効果が長時間継続する微粒子酸化チタン

米国デュポン社（本社：デラウェア州ウィルミントン、会長兼最高経営責任者：チャールズ・O・ホリデー・ジュニア）は、10月15日（米国時間）、紫外線からプラスチックを保護する、デュポン™ライトスタビライザー210を発表しました。本製品は紫外線の吸収特性に優れた酸化チタンの微粒子を利用したもので、プラスチックなどあらゆる物質を紫外線による損傷から保護します。この紫外線吸収特性及び効果は、長期間に安定で失われることがありませんので、様々な用途・分野に応用することが出来ます。また、粒子サイズが極めて小さいことから、従来品の酸化チタン顔料よりもさらに広い範囲の紫外線（UVA光及びUVB光）を吸収するという大きなメリットもあります。

デュポンは世界最大の酸化チタンメーカーとして、コーティング、プラスチックおよび製紙業などの分野で、顔料として幅広い用途を持つ製品を製造しています。デュポン™ライトスタビライザー210は、同社が開発した画期的な酸化チタン製造技術に基づく最初のナノスケール製品群となります。本製品の日本での販売は11月以降の予定です。

デュポン™ライトスタビライザー210は、添加剤として使用することで、紫外線による亀裂、退色、その他の劣化からプラスチック製品を保護する効果を発揮します。用途として、スポーツ用品、屋外用家具、自動車パーツ、ファブリック、カーペット繊維など、日の光（紫外線）にさらされるほぼすべてのプラスチック製品に使用し、その効果を発揮することができます。また、本製品をプラスチックフィルムやシート材に使うことで、温室内の植物や包装品を紫外線から保護することも可能となります。性能試験を実施したところ、デュポン™ライトスタビライザー210は、様々な種類の競合製品に比べ、2倍以上の紫外線遮断効果のあることが示されました。

デュポン™ライトスタビライザー210は、紫外線を吸収し、それを僅かな熱に変えることで紫外線吸収効果を発揮します。この熱はすぐに消散するため、プラスチックの構造に損傷を与えることはありません。

「当社の酸化チタン製造技術は、酸化チタンがデュポンの製品群に加わってから70年

以上の間で幾度となく変化を遂げてきた」「デュポンのナノスケール科学によって、この物質が再び高性能製品に生まれ変わるとは嬉しい限りだ」とデュポン チタニウム テクノロジー事業部 副社長兼ゼネラル・マネージャーのリチャード・C・オルソンは述べています。

デュポン™ライトスタビライザー210の開発は、デュポンの様々な事業部門にわたって新たな成長の機会を生み出す先端技術分野、デュポン・ナノスケール・サイエンス&エンジニアリングの一例です。ナノ特性の測定、解析および制御に関する新しいツールや手法を応用することで、既知の材料をより正確に調整し、望ましい性質の実現をより効果的に行い、機能上の利点を高めることが可能となります。ナノスケール・サイエンス&エンジニアリングは、現在および将来の市場のニーズを満たす、高性能で全く新しい製品を創造する上で、当社の統合的かつ多様な技術上の能力を一段と強化する役割を果たしています。

デュポンは、科学的な発見や発明を基盤に製品やサービスを提供する企業です。創立は1802年、本社は米国デラウェア州ウィルミントンに置かれています。世界70カ国以上に拠点があり、農業・食品関連、建築・建設、通信、輸送の分野で、革新的な製品やサービスをお届けしています。世界中の人々の生活をより安全で豊かにするために、科学の力を生かした持続可能なソリューションを創出しています。

#

この件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

デュポン株式会社
デュポン チタニウム テクノロジー事業部 鈴木
電話:03-5521-8400